

わせたん失恋部

渋谷なんて、

尾崎秋南

川を「ストリーム」と呼べちゃうカジアルさを装った強引 渋谷みたいな

秋草が繁ったままで枯れていく様子を見ても放置したから

とりあえずビールは来ても、とりあえず「とりあえず」では済まない話

酔った勢いでドンキで買ってきた花火に笑う人じゃなさそう

半永久あなた専属フリーハグ・ガールフレンド通称「カノジョ」

月1は109に行くことも想定されず求められても

情けなくさせてごめん 大きくて助かるサロンパスの看板

荒れ肌にハンドクリーム塗りながら寂しげに道を説きたい

別々に身体をはこぶ、歩行する前から別々だった身体で

ねえハチ？会って陳腐 もう誰も待たないでいる銅の確かさ

ことばを強めにかみ砕いてしまふ癖がある

高良真実

風邪のためついばむように水を飲む 治ったら紙ひこうき折ろう

終電が駅を寝かせてゆくように帰ってしまうやさしさのこと

睦言をどうしようかな 二枚貝轆かせて食べていたのはカラス

添い遂げるためいくつかの火を熾しつぎの朝降りはじめる氷雨

風船を膨らませては手を放しそうしてゴムを捨ててきたよね

おしどりのように話しているけれど植物のもつ光屈性

引用がうまくいかずに撃ちもらすあなたの欲を アボカドの種子

好きなものが黄身と白身に分かたれていると伝えているし解って

こうもりの数え方ってなんだっけ 恋人というながい手遊び

でこの要る愛はいらない、まだあなたは映画以外で泣くことはなく

始めたときは誰もここまで続くとは思いませんでした。そして、我々の作中主体は振られてばかりなことになり気がつきました。今回から御手洗さんが参加です。

二冊目の『風にあたる』

御手洗靖大

一線の向こう側から来る人は小指から右頬をとらえて

標準語、なんすね。と言う真夜中の皮脂のにおいに満ちている部屋

激辛をどこでも頼む君なので自分のことを話さずにすむ

つけ麺を特盛りにして彼女でもつくれと諭す客になれれば

誠実を疑うほどに期待しても気の違いたる二人のなかで

先に答えありコンビニのレシートを受け取るような相槌をして

忘れてもいいのであればさよならは言わないのだが西早稲田着

アイコンは五歳のころの君となりもう、もう二度と会えないでしょう

生活の混じりたる部屋そのままにアイロンを持って余す朝

二冊目の『風にあたる』を買う時の紀伊国屋 我も歌を説きなき

【メンバー紹介】

○ 尾崎秋南(おぎき あきな)

早稲田短歌会所属。

声の低さ(と酒焼け)で、いつも「カフトムシ」が瀕死気味。

○ 高良真実(たから まみ)

早稲田短歌会所属、『澁』同人。

最近、岡林信康の「くそくらえ節」が歌える曲に追加されました。

○ 御手洗靖大(みたらい やすひろ)

早稲田短歌会、竹柏会心の花、冷泉家時雨亭文庫和歌会所属

カラオケは「天城越え」のイントロで満足しがち。

※他のメンバーは今回欠詠です。

【広告】

新入部員募集中。相聞歌を作るとき失恋しがちな方を歓迎いたします。

『早稲田短歌』48号は好評発売中、49号は来春刊行予定です。